



③主屋(本館) 1915(大正4)年築 (※建物は表紙を参照)
 入母屋と寄棟の屋根を雁行して並べた変化に富んだ外観が特長で、当時の日本を代表する建築家・木子七郎の設計です。桂太郎公爵、東郷平八郎元帥、清浦奎吾伯爵、秋山好古大将などの直筆扁額があります。欄間は明治から大正時代に活躍した彫刻家・相原雲峯の作です。



⑥茶室(鏡花庵) 1920(大正9)年築 茶室に掲げられている扁額
 茅葺屋根の素朴な外観が特長で、造園を指導した武者小路千家の木津宗泉の指導による設計です。右手の塀はコンクリートによる擬木製です。



⑦浜座敷 1913(大正2)年築 吉祥の蝙蝠を表した襖の引手
 敷地の南端、黒江湾を臨む位置に建つ浜座敷は、海を眺望するのに最も適した場所として、温山荘園で最初に建設されました。埋め立て開発以前は、目の前に広がる青い空と青い海を存分に満喫できた、憩いの場所でありました。



公益財団法人 琴ノ浦 温山荘園

〒642-0001 和歌山県海南市船尾370
 海南駅前より和歌山方面バス10分「琴の浦」下車
 阪和自動車道・海南インターから和歌山方面へ約10分
 TEL.073-482-0201 FAX.073-482-0324
 E-mail onzanso@galaxy.ocn.ne.jp
 ホームページ <https://www.onzanso.or.jp/>
 開園時間…9:00～17:00(入園は16:30まで)
 休 園 日…毎週月曜日
 月曜日が祝祭日の場合は開園(翌火曜日は休園)
 12月1日～2月末日

入園料 シニア(65歳以上) …… 300円
 大人(大学生以上) …… 400円(20名以上・300円)
 小学生・中学生・高校生 …… 200円(20名以上・150円)
 障害者 …… 無料
 (付き添いの方1名のみ入園料200円)

建物内見学料(主屋・浜座敷) …… 各100円
 駐車場(1回につき)
 普通乗用車・軽自動車 …… 300円
 大型(観光)バス …… 1,000円
 マイクロバス …… 800円
 福祉車両 …… 無料

※ペットを連れて園内に入場することはできません。(盲導犬、聴導犬、介助犬を除く)
 ※園内は禁煙です。
 ※車イスをご用意しています。(無料)
 ※急な雨等の休憩場所(約50名)をご用意しています。
 ※主屋・茶室・浜座敷のご利用ならびにお食事のお取り寄せ予約は可能です。料金等についてはお問い合わせ願います。
 ※雑遊び、夏まつり、秋の遊宴、お茶会など四季折々のイベントも行われています。(詳細につきましてはHPにてご確認ください。)
 ※改装工事によりご見学、またはご利用できない建造物等がありますことをご了承ください。

201110000

国指定 名勝・重要文化財



こころに響く日本庭園

琴ノ浦 温山荘園

<https://www.onzanso.or.jp/>

日本遺産 認定

「絶景の宝庫 和歌の浦」が認定されました。
 当園は、その構成文化財の一つです。

日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦

<https://wakanoura-nihonisan.jp/>

温山荘の由来

当園は、愛媛県生まれで1888(明治21)年に日本で初めて動力伝導用革ベルトを製作し、その後、世界有数のベルトメーカーとなった新田革製造所(現ニッタ株式会社)の創業者 新田長次郎翁により、この地に造園されたものです。「温山荘」の名称は、翁の求めに応じて東郷平八郎元帥が、翁の雅号“温山”より命名されました。
 当初は翁の健康維持のために使われていましたが、在世中に一般にも開放され、翁の没後はその遺志により、「財団法人琴ノ浦温山荘園」が設立され、その管理にあたっています。2010(平成22)年文化庁より庭園は国指定の名勝に、建造物は重要文化財に指定され、2011(平成23)年7月、県より公益財団法人として認定されました。



①正門
 洋風のコンクリート造りの門柱に鉄扉を吊り、さらに左右にも門柱を備えています。



②新田長次郎翁銅像

1857(安政4)年(現愛媛県松山市)に生誕。
 1936(昭和11)年 逝去。享年80歳。

こころやすらぐ景観美

松林が美しく繁り、伝統的な和風建築の主屋、茶室、浜座敷などがゆったりと観賞できます。
 ときおり跳ねる魚が静けさをいっそう引き立て、座敷に座って庭の全景を眺めながら、こころやすらぐひとときが過ごせる日本庭園となっています。
 また、お見合いやご結納の場として使用されています。